

令和 3年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	峯村清一
	全体計画						経費区分		-		内線	3622
事務事業名	4306 文化活動振興事業											
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課											
施 策	14011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100601 教育費・社会教育費・社会教育総務費										
	事業	030000 文化活動振興事業										
事業目的						事業概要・効果						
市民の文化芸術への関心を高めるとともに、市民の生き生きとした自主的な文化芸術活動や、優れた芸術鑑賞活動を支援し、豊かな市民生活を実現する。						<ul style="list-style-type: none"> ・「文化芸術振興ビジョン」の具体化 ・信州岩波講座の開催 ・子ども読書活動支援研究会の活動支援 ・一般財団法人須坂市文化振興事業団が行なう自主事業を支援 						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・「第22回信州岩波講座2020」の開催（コロナで中止） ・子ども読書活動支援研究会の活動支援 ・文化振興事業団が行なう自主事業を支援 	
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	メセナホールなど文化振興事業団管理施設利用者数						
算式	年間利用者数・入館者数					単位	人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	133,500	133,500	133,500	133,500		
	実績						
指標選定の理由	利用促進のための利用実績管理						
最終年度目標の根拠	令和3年度はコロナ過のため、目標数値は定めない。 令和4年度以降はコロナ前に回復を目標とするため、コロナ前3年間の平均実績値を目標値とする。						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		9,451	12,573
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	11,355	4,504
一般財源		△1,904	8,069
人員数(人)	正規職員	0.1	0.0
	嘱託職員	0.8	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	696.8	0.0
	嘱託職員	2,519.2	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,216.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		12,667.0	12,573.0

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	報償金(出演料)495
10節 需用費	398	消耗品費71、食糧費25、印刷製本費398
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	6,400	信州岩波講座共催負担金2,500、文化振興事業団自主事業補助金20,000
その他	2,653	報酬(嘱託報酬)2,297、共済費(嘱託社会保険料)353、旅費(費用弁償)100、役務費(郵便、手数料)122、使用料及び賃借料(自動車借上)1

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	397	消耗品費100、印刷製本費300
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	9,430	信州岩波講座共催負担金2,500、文化振興事業団自主事業補助金15,000、文化芸術協会負担金450
その他	2,746	報酬(会計年度任用職員)1,976、職員手当等(同左期末手当)317、共済費(同左)364、旅費(同左)27、役務費(郵便料)20

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか 	普通
評価コメント	市民の文化芸術への関心を高め、豊かな市民生活を実現するため、自主的な文化芸術活動や優れた芸術鑑賞活動を支援している。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	文化振興事業団での自主事業支援、信州岩波講座の開催のほか、文化芸術協会の活動を支援している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	文化芸術振興は効率性だけでは図れないところがある。	

振り返り(決算年度の取組み課題)

新型コロナウイルス感染症に施設の利用休止や事業の中止、須坂市文化会館メセナホールと笠鉾会館の改修のための休館により利用者が前年度比24.4%の35,794人であった。
笠鉾会館ドリームホールを2021年4月1日から須坂市立博物館分館とするため、指定管理者による管理運営期間を2021年3月31日までとした。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進のため継続していく必要がある。

2次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（拡大）
-----------	------------

2次評価コメント

文化活動のあり方について、従来の取組みを再検討し、市民活動の支援や文化振興を核としたまちづくりが必要

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--